

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公表番号】特表2013-522370(P2013-522370A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-501403(P2013-501403)

【国際特許分類】

C 07 C 401/00 (2006.01)

A 61 K 31/59 (2006.01)

A 61 P 7/06 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 37/06 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 17/16 (2006.01)

A 61 P 19/00 (2006.01)

A 61 P 19/10 (2006.01)

C 07 F 7/18 (2006.01)

【F I】

C 07 C 401/00 C S P

A 61 K 31/59

A 61 P 7/06

A 61 P 35/02

A 61 P 35/00

A 61 P 25/00

A 61 P 3/10

A 61 P 37/06

A 61 P 19/02

A 61 P 29/00 1 0 1

A 61 P 11/06

A 61 P 1/04

A 61 P 17/00

A 61 P 17/16

A 61 P 19/00

A 61 P 19/10

C 07 F 7/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月18日(2014.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

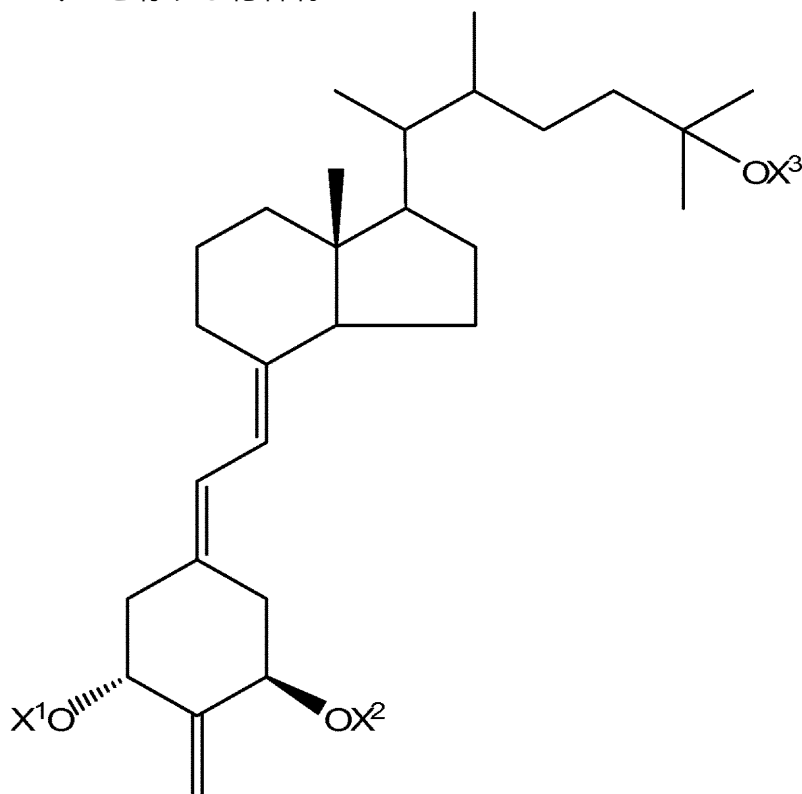
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I を有する化合物：



式中、X¹、X²、およびX³は、独立してHおよびヒドロキシ保護基から選択される。

【請求項 2】

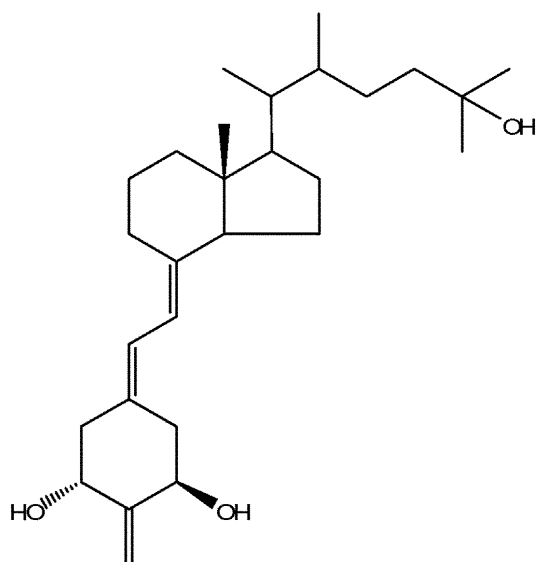
X¹、X²、およびX³が、ヒドロキシ保護基である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

X¹およびX²が、両方ともt-ブチルジメチルシリル基であり、かつX³がトリエチルシリル基である、請求項 2 記載の化合物。

【請求項 4】

式 II を有する化合物：

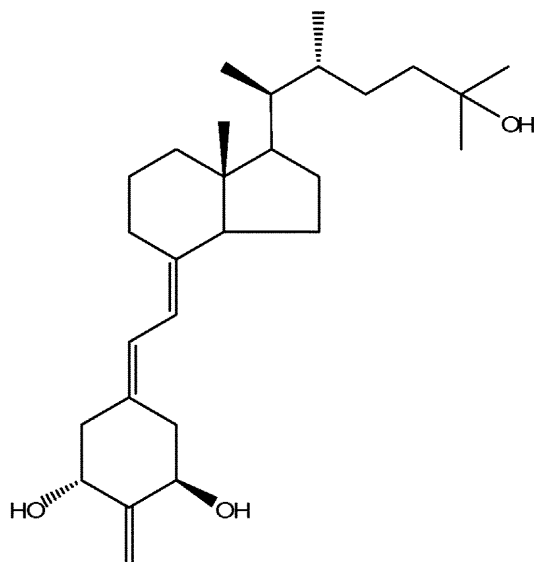


II

。

【請求項 5】

式 I I A を有する、請求項 4 記載の化合物：

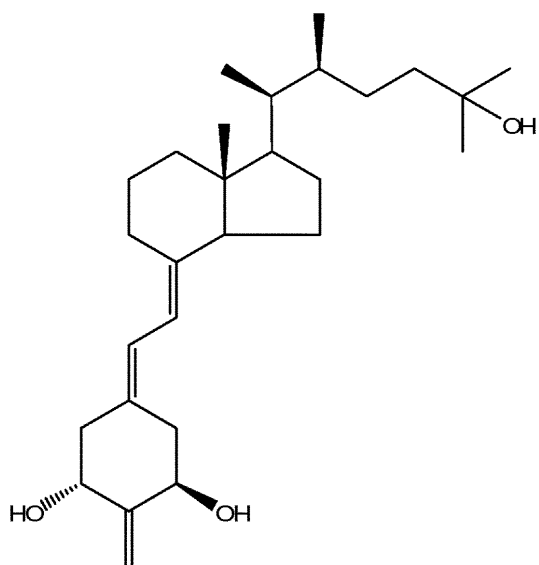


IIA

。

【請求項 6】

式 I I B を有する、請求項 4 記載の化合物：

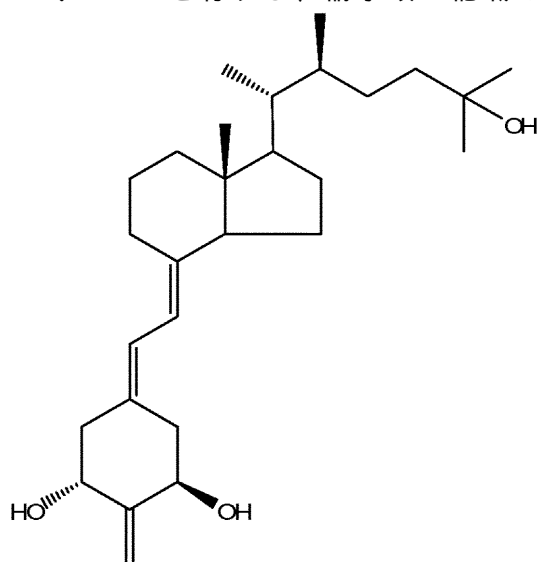


IIB

。

【請求項 7】

式 I I C を有する、請求項 4 記載の化合物：

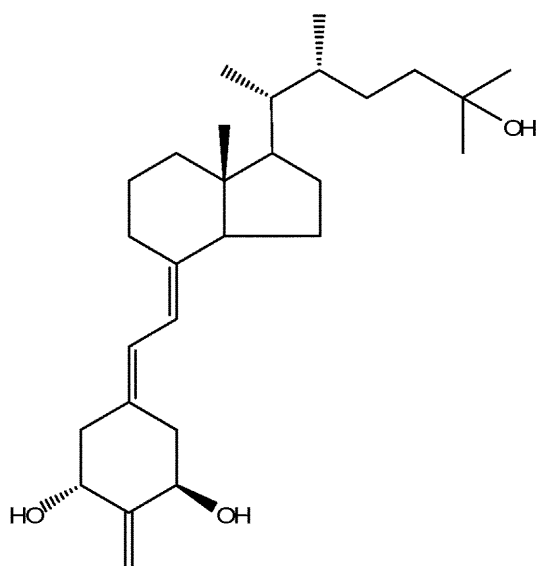


IIC

。

【請求項 8】

式 I I D を有する、請求項 4 記載の化合物：

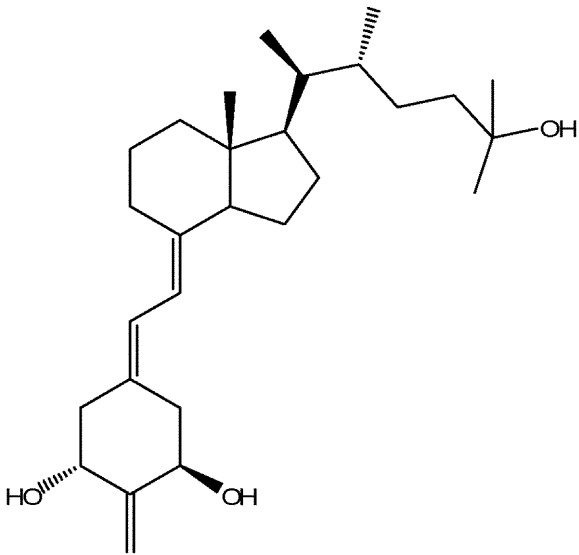


IID

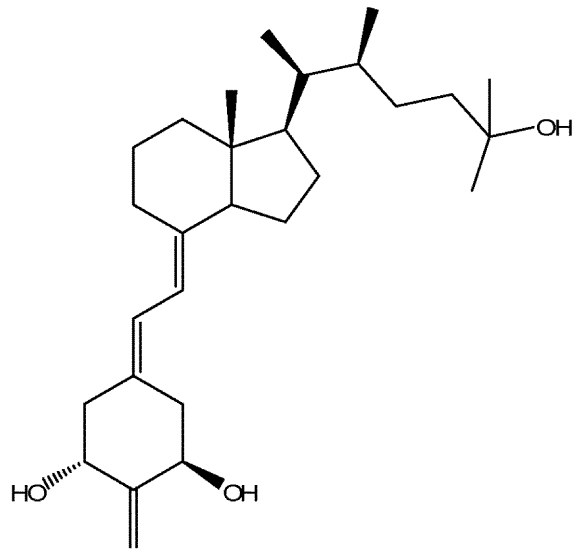
。

【請求項 9】

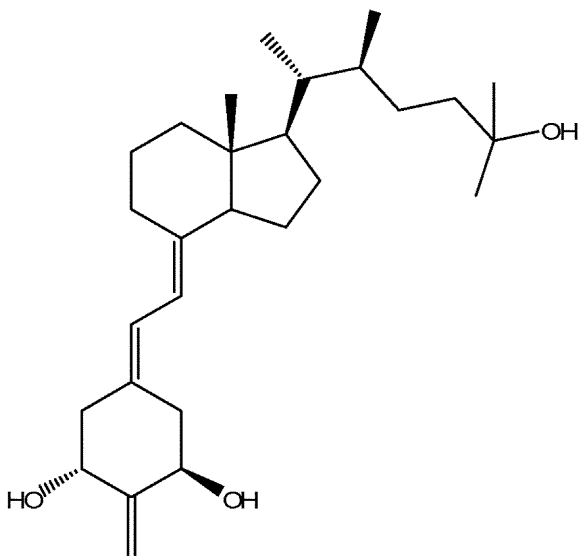
式 I I E、I I F、I I G、または I I H を有する、請求項 4 記載の化合物：



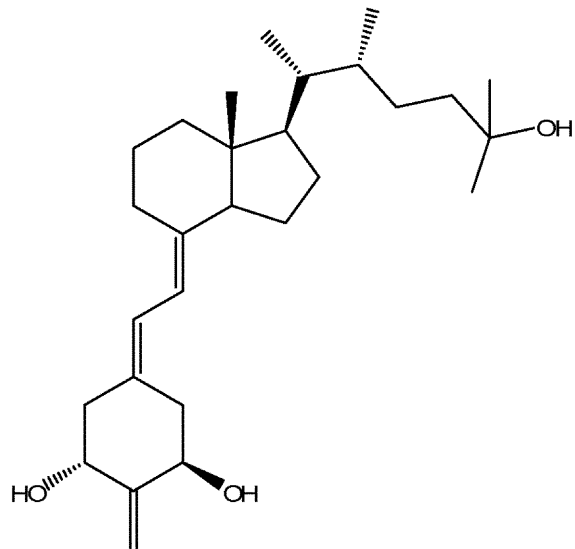
IIE



IIF



IIG



IIH

。

【請求項 10】

請求項 4～9 のいずれか一項に記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

【請求項 11】

前記有効量が、組成物 1 グラムあたり約 0.01 μg ～約 1 mg の化合物を含む、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記有効量が、組成物 1 グラムあたり約 0.1 μg ～約 500 μg の化合物を含む、請求項 10 記載の医薬組成物。

【請求項 13】

請求項 4～9 のいずれか一項に記載の化合物の有効量を含む、生物学的状態を患う対象を治療するための医薬組成物であって、該生物学的状態が、乾癬；白血病；結腸がん；乳がん；前立腺がん；多発性硬化症；ループス；真性糖尿病；宿主対移植片反応；臓器移植片拒絶反応；関節リウマチ、喘息、もしくは炎症性腸疾患から選択される炎症性疾患；しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、もしくは不十分な皮脂分

泌から選択される皮膚の状態；腎性骨ジストロフィー；または骨粗鬆症から選択される、医薬組成物。

【請求項 14】

前記生物学的状態が乾癬である、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記生物学的状態が、白血病、結腸がん、乳がん、または前立腺がんから選択される、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記生物学的状態が、多発性硬化症、ループス、真性糖尿病、宿主対移植片反応、または臓器移植片拒絶反応から選択される、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記生物学的状態が、関節リウマチ；喘息；またはセリアック病、潰瘍性大腸炎、およびクローン病から選択される炎症性腸疾患から選択される、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記生物学的状態が、しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、または不十分な皮脂分泌から選択される、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 19】

前記化合物が対象に経口投与、非経口投与、経皮投与、または局所投与されるように用いられる、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記化合物が、1日につき0.01 μg ~ 1日につき1 mg の投与量で投与されるように用いられる、請求項 13 記載の医薬組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

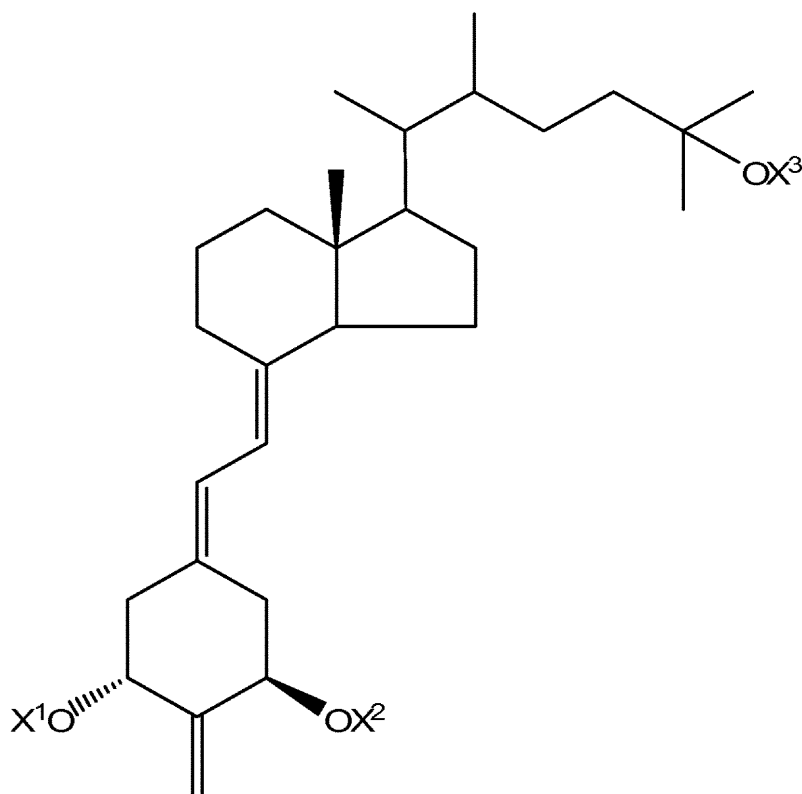
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

[本発明1001]

式 I を有する化合物：



式中、 X^1 、 X^2 、および X^3 は、独立してHおよびヒドロキシ保護基から選択される。

[本発明1002]

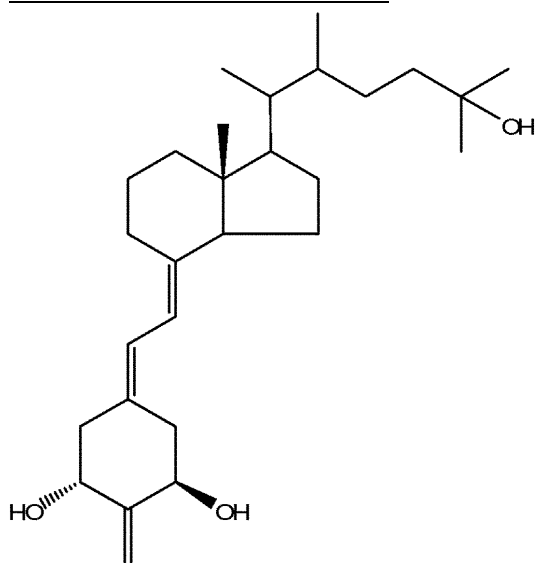
X^1 、 X^2 、および X^3 が、ヒドロキシ保護基である、本発明1001の化合物。

[本発明1003]

X^1 および X^2 が、両方ともt-ブチルジメチルシリル基であり、かつ X^3 がトリエチルシリル基である、本発明1002の化合物。

[本発明1004]

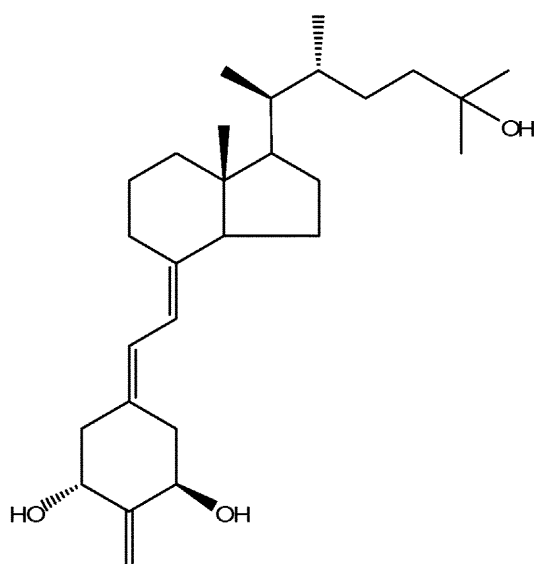
式IIを有する化合物：



II

[本発明1005]

式IIAを有する、本発明1004の化合物：

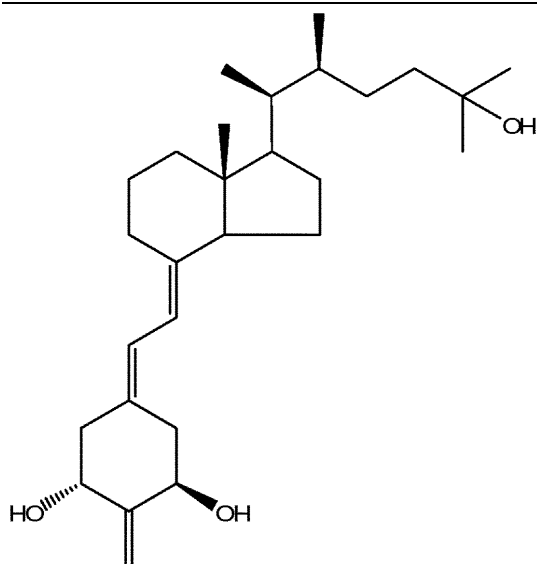


IIA

°

[本発明1006]

式 I I B を有する、本発明1004の化合物：

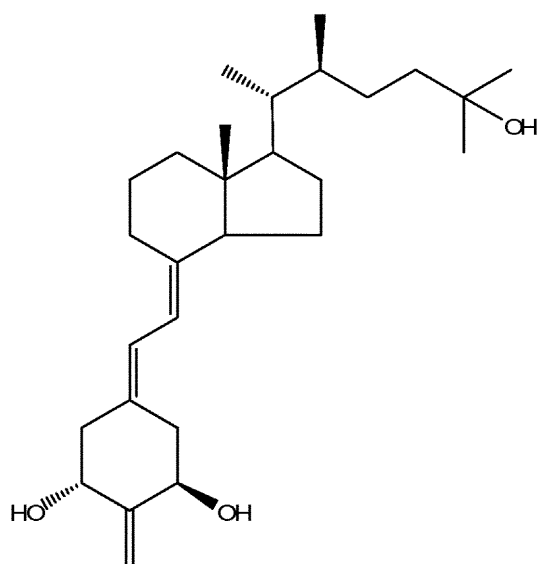


IIB

°

[本発明1007]

式 I I C を有する、本発明1004の化合物：

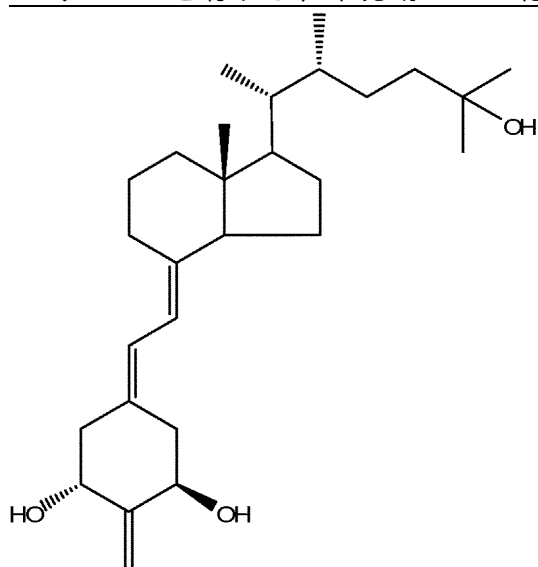


IIC

°

[本発明1008]

式 I I D を有する、本発明1004の化合物：

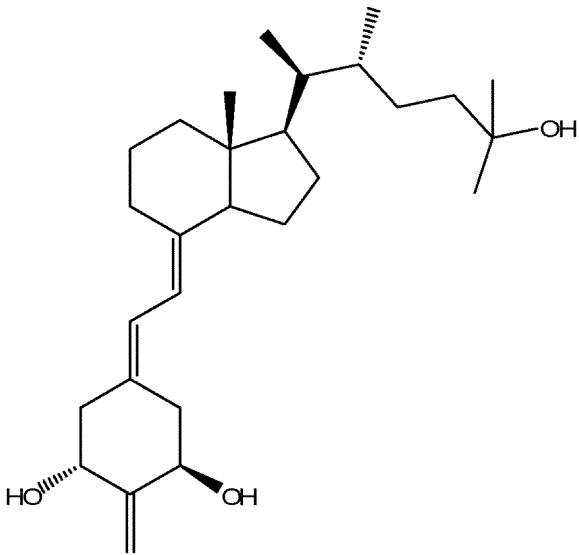


IID

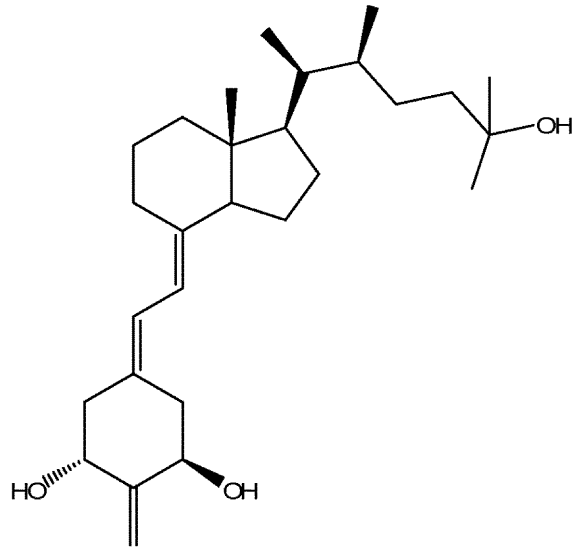
°

[本発明1009]

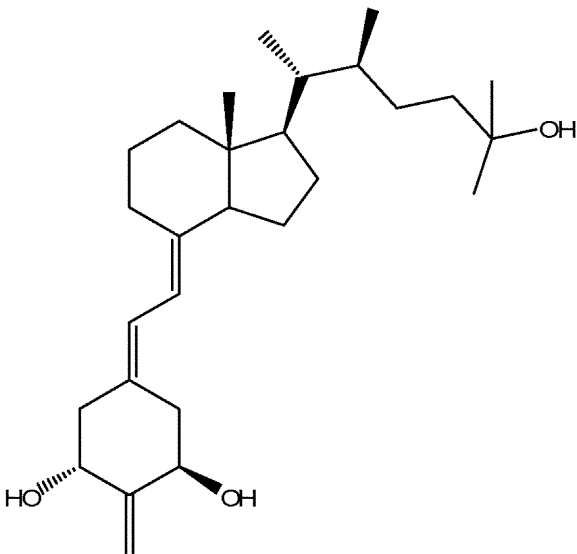
式 I I E、I I F、I I G、またはI I Hを有する、本発明1004の化合物：



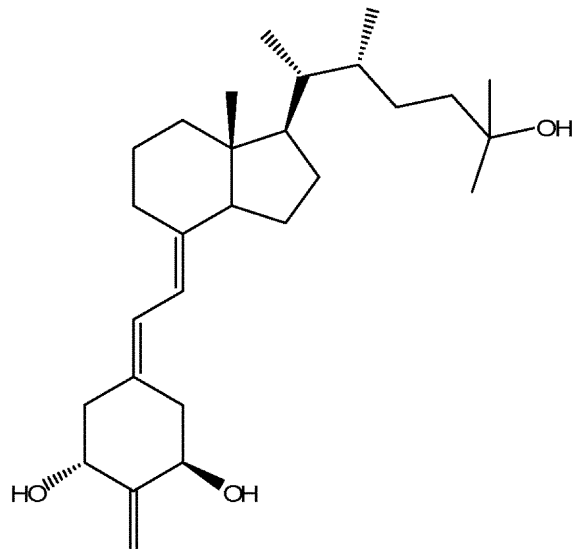
IIE



IIF



IIG



IIH

[本発明1010]

本発明1004～1009のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

[本発明1011]

前記有効量が、組成物1グラムあたり約0.01 μ g～約1mgの化合物を含む、本発明1010の医薬組成物。

[本発明1012]

前記有効量が、組成物1グラムあたり約0.1 μ g～約500 μ gの化合物を含む、本発明1010の医薬組成物。

[本発明1013]

本発明1004～1009のいずれかの化合物の有効量を対象に投与することを含む、生物学的状態を患う対象を治療する方法であって、該生物学的状態が、乾癬；白血病；結腸がん；乳がん；前立腺がん；多発性硬化症；ループス；真性糖尿病；宿主対移植片反応；臓器移植片拒絶反応；関節リウマチ、喘息、もしくは炎症性腸疾患から選択される炎症性疾患；しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、もしくは不十分な皮脂

分泌から選択される皮膚の状態；腎性骨ジストロフィー；または骨粗鬆症から選択される、前記方法。

[本発明1014]

前記生物学的状態が乾癬である、本発明1013の方法。

[本発明1015]

前記生物学的状態が、白血病、結腸がん、乳がん、または前立腺がんから選択される、本発明1013の方法。

[本発明1016]

前記生物学的状態が、多発性硬化症、ループス、真性糖尿病、宿主対移植片反応、または臓器移植片拒絶反応から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1017]

前記生物学的状態が、関節リウマチ；喘息；またはセリアック病、潰瘍性大腸炎、およびクローン病から選択される炎症性腸疾患から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1018]

前記生物学的状態が、しわ、適切な皮膚の引き締まりの欠如、適切な皮膚水分量の欠如、または不十分な皮脂分泌から選択される、本発明1013の方法。

[本発明1019]

前記化合物が対象に経口投与、非経口投与、経皮投与、または局所投与される、本発明1013の方法。

[本発明1020]

前記化合物が、1日につき0.01 μ g ~ 1日につき1mgの投与量で投与される、本発明1013の方法。

本技術のさらなる特徴および利点は、以下の詳細な説明および図面から明らかとなる。